

平成 26 年度北海道大学総合技術研究会参加報告

立花一志

工学系技術支援室 装置開発技術系

はじめに

平成 26 年 9 月 4 日～5 日開催された、平成 26 年度北海道大学総合技術研究会に聴講参加したので報告する。この研究会へは共同研修者が学外での発表を初めて行う場であったので、そのサポートを行った。また、工作技術に関する講演を聴講して、技術部装置開発技術系の機械加工に関する事項について情報収集を行った。



写真 1. 会場前にて

1. 期間・場所：

平成 26 年 9 月 4 日～平成 26 年 9 月 5 日

北海道大学札幌キャンパス（北海道札幌市北区北 15 条西 7 丁目）

2. 日程：

表 1. 日程表

平成 26 年 9 月 4 日（木）	平成 26 年 9 月 5 日（金）
11:00 ～ 受付	9:00 ～ 12:20 口頭発表
13:15 ～ 13:30 開会式	12:20 ～ 13:30 昼休み
13:30 ～ 15:00 特別講演 演 題：「人類の進歩に役立つ科学の例 －有機ホウ素化合物を利用する有機合成－」 北海道大学名誉教授 鈴木 章	13:30 ～ 15:40 口頭発表
15:00 ～ 15:20 連絡、次回開催案内	
15:20 ～ 15:30 休憩	
15:30 ～ 16:10 ポスター発表 A グループ	
16:15 ～ 16:55 ポスター発表 B グループ	

3. 開催分野：

(1) 機械・材料系，製作技術分野(2) 特殊・大型実験，自然観測技術分野(3) 電気・電子・通信系技術分野(4) 極低温技術分野(5) 情報系技術分野(6) 生物・農林水産系技術分野(7) 生命科学技術分野(8) 機器・分析技術分野(9) 実験・実習技術分野(10) 建築・土木・資源系技術分野(11) 施設管理・安全衛生管理技術分野(12) 地域貢献・技術者養成活動分野



写真 2. ポスターセッション 第一体育館



写真 3. 口頭発表 第 11 会場

4. まとめ

同行の発表者は設計段階から教員、院生との打合せに加わり、機械設計・トルク計算・耐力試験・各種部品の選定など数多く経験した事柄を研究会の場で発表することができた。参加者からは部品製作に関する加工方法や装置の製作期間、に関する質問・意見が出された。ここで学んだことを今後の業務にフィードバックしていきたい。

その他には、口頭発表を聴講した際マシニングセンタの ATC 不具合をユーザー側で修理したことによるコスト削減についての発表は、装置の維持管理に参考になった。また、ポスターセッションにおいて導通性のないアルマイト加工処理されたアルミ合金の加工方法（ワイヤ放電加工機）に関する技術を知ることが出来た。この技術は他の電気抵抗が高い材料に対しても応用が可能なので今後活用していきたい。